

平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	科学者間ネットワークの構築		担当部局庁	日本学術会議事務局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	企画課長		清水誠		
会計区分	一般会計		施策名	20-④ 科学者間ネットワークの構築				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	日本学術会議法		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本学術会議法第2条に基づき、わが国の科学者の内外に対する代表機関(全国約84万人の科学者の代表として選出された会員210名と連携会員2,000名で構成)として、科学者間交流を推進し、科学者コミュニティ内の連携・協力体制を強化することで、科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させること。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	科学者間のネットワーク構築に寄与するため、各地域で、日本学術会議で集積した研究成果や学術情報の提供を行うほか、地域の科学者からの意見・要望等を聴取するため、科学者懇談会、地区会議公開講演会を開催する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	24	23	17	13	8	
		補正予算	-	0	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	24	23	17	13	8	
	執行額	16	15	14	-	-		
執行率(%)	67%	65%	82%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	地区会議の開催 (地区会議の開催は、当該地区の事業計画等を作成し、その作成・実施に当たっての情報収集・検討等を行うものであり、会議の回数ではなく、その質が重要であることから、定量的な指標をたてなかった。)		成果実績	実施	実施	実施	実施	-
			達成度	%	-	-	-	-
	地区会議公開講演会の開催 ・地区会議公開講演会の開催件数		成果実績	回	8	9	9	-
		達成度	%	114	129	129	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	・地区会議公開講演会開催件数(6地区計)の年度内開催件数		活動実績 (当初見込み)	回	8	9	9 (7)	- (7)
	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	地区会議の開催の有無		活動実績 (当初見込み)	実施	実施	実施	実施 (実施)	- (実施)
単位当たりコスト	1,596千円(円/回)		算出根拠	14,366千円÷9回				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	委員手当	1	1					
	会員手当	1	1					
	諸謝金	0	0					
	職員旅費	1	1					
	委員等旅費	2	2					
	庁費	8	3					
	計	13	8					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状・予 算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動 実績、 成果 実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果		<p>【目標の達成状況の検証】</p> <p>○成果指標「地区会議の開催」、「地区会議公開講演会の開催」については、各地区（北海道、東北、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄）において、地域及び最近の話題などをテーマとした地区会議主催公開講演会、地域の科学者の意見を聴く場である科学者懇談会を合計9回開催し、引き続き科学者懇談会を開催してほしい等の要望が出るなど、地域の学術振興、科学者間ネットワークの構築に貢献している。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>○地域からの要望等も踏まえ、引き続き、科学者間交流を推進し、科学者コミュニティ内の連携・協力体制を強化することにより緊密な科学者間ネットワークの構築を図る。</p> <p>○地域固有の問題を踏まえた事業計画を独自に策定し、地域密着型の学術講演会や科学者懇談会等の事業を通じて、地域からの情報発信を目指す地域主体の事業とする。</p> <p>【執行状況・資金の流れ】</p> <p>科学者懇談会、地区会議学術講演会等に必要な手当、謝金及び旅費について関係法令に基づき各個人に適切に支給している。</p> <p>また、科学者懇談会、地区会議学術講演会等で必要なポスターの印刷などについても、適正な契約手続を行い、受注業者に対して職員が指導・監督を行える体制をとっており、予算の支出先・使途の把握については、十分な水準になっている。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
一 部 改 善		地域からの情報発信は重要な視点であるが、情報通信技術が発達している今日において、ブロック毎の地区会議の開催が真に有効かつ必要な手段であるか再検討のうえ、事業の効率化を図るべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>日本学術会議の機能強化の一環として、地区会議の固有の活動を強化することとしており、それぞれの地域の固有の問題に関し地域からの情報発信は今後も様々な形態で行うことが重要であることを確認し、本事業についても地域主体の事業として継続することとした。</p> <p>ただし、地区会議の開催に当たっては、ボランティアで各大学に協力を依頼するとともに、経費の負担減につながるような会場選定を行うこととした。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

日本学術会議事務局企画課
14百万円

〔 地方における活動を充実させるために必要な経費等 〕

→ 【随意契約(少額)】

A. 民間企業(6社)
1.8百万円

〔 地区会議学術講演会のポスター印刷経費等 〕

B. 民間企業等(3社)
1.4百万円

〔 地区会議学術講演会会場等借料 〕

C. (株)太陽美術
0.6百万円

〔 地区会議学術講演会のポスター等梱包・発送業務 〕

D. (財)日本学術協力財団
0.3百万円

〔 月刊誌「学術の動向」購入経費 〕

E. 民間企業等(3社)
0.4百万円

〔 地区会議の看板等作成業務 〕

F. 民間企業(2社)
0.2百万円

〔 産学官連携功労者表彰経費 〕

G. (株)会議録研究所
0.0百万円

〔 地区会議学術講演会テープ起こし 〕

→ 【旅費・手当:直接】

H. 会員・連携会員等(276人)
9.5百万円

〔 会員・連携会員等の旅費・手当 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

(注) 計数は原則四捨五入によっているため、資金の流れ別紙の合計とは合致しないものがある。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。使
 途と費目の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)双文社	提言「学術の大型施設計画・大規模研究計画」等の印刷	0.8	随意契約	
2	(株)サンヨー	回答「大学教育の分野別質保証の在り方について」等の印刷	0.3	随意契約	
3	(株)成光社	日本学術会議北海道地区会議ニュース(NO.43)等の印刷	0.3	随意契約	
4	浦商印刷(株)	日本学術会議東北地区会議学術講演会ポスター及びリーフレットの印刷	0.1	随意契約	
5	(株)太陽美術	日本学術会議北海道地区会議学術講演会ポスター及びチラシの印刷	0.1	随意契約	
6	(株)キタジマ	日本学術会議中部地区会議学術講演会ポスター及びチラシの印刷	0.1	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本通運(株)首都圏旅行支店	日本学術会議東北地区会議地域振興・東北地区フォーラムにおける会場等賃貸借	0.9	随意契約	
2	九州産交ツーリズム(株)	日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会における会場賃貸借	0.3	随意契約	
3	公益財団法人大学コンソーシアム京都	日本学術会議近畿地区会議学術講演会における会場賃貸借	0.1	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)太陽美術	日本学術会議地区会議ポスター等の封入封緘及び発送	0.6	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本学術協力財団	月刊誌「学術の動向」購入	0.3	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道大学生協同組合	日本学術会議北海道地区会議学術講演会立て看板及び横断幕作成	0.2	随意契約	
2	京都大学生協同組合	日本学術会議近畿地区会議学術講演会看板(会場内)作成	0.1	随意契約	
3	(株)ツカサ創研	日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会看板等作成	0.1	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東京カップ	産学官連携功労者表彰楯の購入	0.1	随意契約	
2	ヨシダ印刷(株)	産学官連携功労者表彰状の揮毫	0.04	随意契約	

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)会議録研究所	「日本学術会議中部地区会議学術講演会」におけるテープ起こし	0.03	随意契約	

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A				
2	個人B				
3	個人C				
4	個人D				
5	個人E				
6	個人F				
7	個人G				
8	個人H				
9	個人I				
10	個人J				